

【通 信】

総 会 報 告

日 時：2014 年 7 月 13 日（日） 16:25～17:00

会 場：北海学園大学 豊平キャンパス 7 号館 D31 教室

1. 議題

(1) 2013 年度事業報告および決算報告

2013 年度事業報告

① 研究会・総会の開催（詳細は会誌 10 号【通信】欄参照）

第 1 回研究会・総会

2013 年 7 月 7 日（日）13:30～17:00 北海学園大学 豊平キャンパス

研究発表 4 件

総会：2012 年度事業報告・決算報告、2013 年度事業計画・予算案など

第 2 回研究会

2013 年 10 月 26 日（土）15:30～17:15

27 日（日）10:00～11:45 道立北方民族博物館 講堂

研究発表 6 件

② 講演会等の開催

2013 年 12 月 1 日（日）函館市地域交流まちづくりセンター 3 階会議室

大矢京右講演会

「北海道南部のアイヌ文化を探る一道南のアイヌ文化に関する総合的研究」

（詳細は会誌 10 号【講演会等報告】欄参照）

③ 会誌第 10 号の刊行（2014 年 3 月刊行、155 ページ）

論文 2、研究ノート 7、書評・紹介 5

④ シンポジウム等後援

・第 28 回北方民族文化シンポジウム

「環境変化と先住民の生業文化：家畜飼育・牧畜における適応」

（2013 年 10 月 5 日（土）、6 日（日）オホーツク・文化交流センター）

・函館アイヌ文化研究会シンポジウム「北海道南部のアイヌ文化を探る」

（2013 年 12 月 1 日（日）函館市地域交流まちづくりセンター）の後援

⑤ ホームページ更新

月平均 2 回ほど更新。2013 年 7 月から 1 年間のアクセス数約 2000 件（のべ 14000 件）

⑥ 新規入会 2 名

2013 年度決算報告

収 支 報 告

収入の部	予 算	実 績	差 額	備 考
繰越金	591,776	591,776	0	
会費収入 2013年度会費	210,000	198,000	△ 12,000	3,000円×66人
過年度分未収会費	30,000	27,000	△ 3,000	3,000円×9件
先払い分	0	6,000	6,000	3,000円×2件
小計	240,000	231,000	△ 9,000	3,000円×77件
会費収入 (2014.4)				
2013年度会費		27,000	27,000	3,000円×9人
2014年度会費		90,000	90,000	3,000円×30件
先払い分		6,000	6,000	3,000円×2件
	0	123,000	123,000	3,000円×41件
会誌販売収入	20,000	21,000	1,000	
雑収入	0	94	94	銀行利息
合 計	851,776	A 966,873	115,097	

支出の部	予 算	実 績	差 額	備 考
2013年度会誌印刷費	150,000	169,830	△19,830	
通信費	20,000	21,214	△1,214	
文具・消耗品費	5,000	5,109	△109	
アルバイト謝金	70,000	48,000	22,000	
ホームページ管理費	10,000	21,800	△11,800	HPビルダー購入
予備費	80,000	10,330	69,670	学会賞経費
合 計	335,000	B 276,283	58,717	

(単位：円)

A－B＝ 690,590 円 (次年度繰越金)

収入・支出ともに適正に処理されていることを確認いたしました。

2014年 6月

監査委員 野口 明広

2014年 6月

監査委員 中村 和之

(2) 2014 年度事業計画および予算案

2014 年度事業計画

1. 総会の開催（第 1 回研究会と同日開催）
2. 研究会の開催（2 回：7 月，11 月）
第 2 回研究会を 2014 年 11 月 15 日（土）、16 日（日）両日に帯広百年記念館（帯広市）で開催予定。
3. 講演会等の主催／共催／後援
第 29 回北方民族文化シンポジウム（2014 年 10 月 4，5 日、網走市）の後援
他は未定だが、随時提案・通知する。
4. 『北海道民族学』第 11 号の刊行（11 月末日エントリー締切、12 月末日原稿締切）

2014 年度予算

北海道民族学会 2014 年度 予算案

収入の部	前年度実績	予 算	備 考
繰越金	591,776	690,590	
会費収入 2014年度会費	225,000	180,000	3,000円×60人 *32件
過年度分未収会費	27,000	15,000	5件
先払い分	102,000	0	
会誌販売収入	21,000	20,000	
雑収入	94		
合 計	996,873	905,590	

支出の部	前年度実績	予 算	備 考
2014年度会誌印刷費	169,830	170,000	
通信費	21,214	25,000	
文具・消耗品費	5,109	10,000	
アルバイト謝金	48,000	80,000	
ホームページ管理費	21,800	20,000	
予備費	10,330	80,000	
次年度繰越	690,590	520,590	
合 計	276,283	906,590	

（単位：円）

(3) 総会議事

1. 会則の改正について

会則第 17 条を次のように改正することが提案され、承認された。

「第 17 条 本会の会計年度は、毎年 5 月にはじまり、翌年 4 月におわる。」

2. 2013 年度決算および事業報告ならびに 2014 年度予算案について
事務局から説明があり、原案どおり了承された。

3. 役員改選について

来年度が役員改選の年度にあたることから、新会長の推薦があれば 10 月末までに事務局または運営委員に届けるよう報告があった。

4. 会誌アーカイブ化について

昨年度で会誌が第 10 号を迎えたのを機に、これまでの号を HP に掲載・公開することを予定している。執筆者には公開への許諾を照会する。

5. 本年度第 2 回研究会について

次回研究会を帯広百年記念館（帯広市）で、2014 年 11 月 15 日（土）午後～16 日（日）午前に行う予定であることが報告され、積極的な参加と研究発表申し込みが呼びかけられた。

6. 学会奨励賞の決定報告と表彰式

2013 年度奨励賞を山田祥子氏に授与することとしたことが報告され、推薦者の津曲敏郎氏による推薦理由の説明のあと、岩崎会長から、表彰状と副賞が授与された。続いて本人から受賞の挨拶があった。

北海道民族学会 学会賞規定

1. 北海道民族学会は、民族学、及びその関連分野で顕著な功績のあった者に対し、各年度に学会賞の募集・選定・授与をおこなう。
2. 学会賞は、北海道民族学会による若手研究者の育成と学術活動の促進・発展を目的とする。
3. 学会賞には、北海道民族学会特別賞（特別賞）と北海道民族学会奨励賞（奨励賞）を定める。
4. 学会賞候補者は、会員からの推薦（自推を含む）によって受け付け、運営委員会により受賞者を決定する。募集や選考の詳細については別に定める。
5. 学会賞（特別賞及び奨励賞）に選考された者には、賞状ならびに記念品を授与する。
6. 特別賞と奨励賞の対象は以下の通りとする。

(1) 特別賞

- a. 候補者は、本会会員とし、年齢は問わない。
- b. 候補者は、民族学及びその関連分野で、学術あるいは事業活動等において顕著な功績があり、現在も研究・教育・普及活動等を行っている者とする。

(2) 奨励賞

- a. 候補者は、本会会員とし、応募時点での年齢が満 40 歳未満であること。
- b. 候補者は、原則として前年度に学術雑誌等に発表した論文・資料等、またフィールドワークを含む研究活動等により、民族学及び、その関連分野において学術上の顕著な業績を上げ、将来が期待される者とする。審査に際しては、『北海道民族学』に掲載された論文・研究ノートを優先的な評価対象とする。

7. この規定は 2012 年度から適用する。

2014 年度研究会 （発表要旨は本号に掲載）

第 1 回研究会プログラム

日 時：2014 年 7 月 13 日（日） 13：30～17：00

会 場：北海学園大学 豊平キャンパス 7 号館 D31 教室

【研究発表】

1. 宇仁義和（東京農業大学）
「地元目線でたどるロミン・ヒッチコックの旅程と写真の解説」
2. 沖野慎二（東海大学）
「『生命科学者』がアイヌ研究に『色目をつかう』とき」
3. 濱田信吾（総合地球環境学研究所プロジェクト研究員／インディアナ大学人類学部外来研究員）
「環北太平洋におけるニシン歴史生態学—トリンギットとアイヌを例として—」
4. 松井佳祐（札幌学院大学科目等履修生）
「ひばりヶ丘公園における河童のうわさの予備的調査報告」

第 2 回研究会プログラム

日 時：2014 年 11 月 15 日（土）13：00～16：50 ／ 16 日（日）10：00～12：00

会 場：帯広百年記念館 2 号室

【研究発表】

<11 月 15 日（土）>

1. 西村幹也（NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ）
「カザフ人の乳製品：民族的知識へのアプローチ—モンゴル国バヤンウルギーの事例—」
2. 山田敦士（日本医療大学）
「研究者にとっての表記と話者にとっての表記—ワ族のリテラシー調査から—」
3. 足立スサーナ（酪農学園大学、JICA 日系研修員）・石井智美（酪農学園大学）
「アルゼンチンの SUSHI と日本食」
4. 梅木佳代（北海道大学大学院文学研究科）
「絶滅した『日本の野生動物』としてのエゾオオカミをめぐる位置付けと言説の変遷」

<11 月 16 日（日）>

【特別企画】 「音楽ってなあに ～楽器の文化あれこれ鼎談～」

主 催：北海道民族学会 ／ 共 催：帯広百年記念館

<鼎談者>

枡谷隆男 北海道立札幌拓北高等学校教諭

荏原小百合 北海道大学大学院文学研究科専門研究員、札幌大谷大学芸術学部非常勤講師
 荒山千恵 いしかり砂丘の風資料館学芸員
 <司会進行>
 甲地利恵 北海道立アイヌ民族文化研究センター研究課長

2014 年度新入会員

賈 玉龍
 濱田 信吾 (総合地球環境学研究所 プロジェクト研究員)
 松井 佳祐 (札幌学院大学科目等履修生)
 足立スサーナ (酪農学園大学 JICA 日系研修生)
 曹 建平 (北海道大学大学院文学研究科博士課程)

北海道民族学会役員 (2013 年 7 月改選)

会 長	岩崎 まさみ	(北海学園大学)
運営委員	手塚 薫	(北海学園大学 事務局担当)
	石井 智美	(酪農学園大学)
	甲地 利恵	(北海道立アイヌ民族文化研究センター)
	佐々木 亨	(北海道大学)
	田村 将人	(札幌大学)
	津曲 敏郎	(北海道大学)
	出利葉 浩司	(北海道開拓記念館)
	中田 篤	(道立北方民族博物館)
	野手 修	(藤女子大学)
	林 美枝子	(札幌国際大学)
	平田 昌弘	(帯広畜産大学)
監 事	中村 和之	(函館工業高等専門学校)
	野口 明広	(北海道大学)
顧 問	岡田 淳子	

北海道民族学会事務局

062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40

北海学園大学人文学部

手塚 薫 研究室内

Tel : 011-841-1161 (内線 2290)

Fax : 011-824-7729

dou-minzoku@mail.goo.ne.jp

<http://douminzoku.web.fc2.com/>